

進路と学習を考える

# 前高ジャーナル



発行 群馬県立前橋高等学校  
(編集 進路指導部)  
〒371-0011 群馬県前橋市下沖町 321-1  
TEL: 027-232-1155 FAX: 027-233-1046  
Email: maebashi-hs@edu.g.s.n.ed.jp

## 2020年度入試を振り返って

### ◆2020年度入試トピック◆

- 大学入学共通テストを翌年に控えた最後のセンター試験
- 引き続き安全志向の出願動向
  - ・大きな入試改革への不安
  - ・センター試験平均点ダウン

### 1. 大学入試センター試験

2021年から現行の大学入試センター試験に代わって、大学入学共通テストが実施される。今年で最後となった大学入試センター試験は2020年1月18日(土)・19日(日)の2日間にわたって全国各地で行われた。

18歳人口の減少などが要因で志願者数は前年より減少した。また、推薦・AO入試の拡大とそれとともなって早期に進学先を決定した受験生の増加で、受験率も減少した。

前高生は、例年どおり前橋高校試験場で313名が受験した。ベネッセ・駿台の予想では、5教科900点満点の平均点は文系、理系ともに大幅ダウンとなっている。前高生の5教科平均点もダウンした。文系は全国の動向ほどの落ち込みはなかったものの、理系が大きな影響を受けた形だ(【表1】)。平均点の大幅ダウンの背景には、英語や数学といった受験人数の多い科目での平均点ダウンがある(【表2】)。翌年に大学入学共通テストを控え、一部の問題で新しい形式の出題や、新テストを意識したと思われる出題が見られた。

【表1】5教科(900点満点)平均点

年度	全国*		前高	
	文系	理系	文系	理系
2016	547	564	645.3	659.2
2017	556	562	659.0	646.1
2018	554	564	648.1	646.9
2019	570	576	671.0	675.6
2020	548	559	665.4	638.4

\*全国平均はベネッセ・駿台による推測値

【表2】主要科目の平均点<全国>

年度	2019	2020	差
国語	121.6	119.3	-2.3
世界史B	65.4	63	-2.4
日本史B	63.5	65.5	2.0
地理B	62.0	66.4	4.4
数学ⅠA	59.7	51.9	-7.8
数学ⅡB	53.2	49	-4.2
物理	56.9	60.7	3.8
化学	54.7	54.8	0.1
生物	62.9	57.6	-5.3
英語	123.3	116.3	-7.0
リスニング	31.4	28.8	-2.6

大学入試センター発表資料による

### 2. 国公立大学二次試験

国公立大学の志願者は、前年比で3万人を超える大幅な減少となった(【表3】)。18歳人口の減少に加えて、翌年の大きな入試改革への不安や、センター試験の平均点ダウンが大きく影響したようだ。前高生の多くが出願する難関国立10大学の志願状況も、のきなみ前年と比べて減少していた。

前高現役生の大学設置区分別出願状況についてまとめたのが【表4】である。国立大学の出願数は前年比で

【表3】国公立大学志願状況(独自日程は除く<全国>)

設置	2019年度			2020年度			志願者前年比
	募集人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者数	倍率	
国立	78,366	330,153	4.2	77,996	307,192	3.9	-22.961
公立	22,060	139,683	6.3	22,150	132,373	6.0	-7.310
計	100,426	469,836	4.7	100,146	439,565	4.4	-30.271

駿台資料による

減少したが、公立大学への出願が大幅に増加した。さら

に、私立大学への出願は過去10年で最高を記録した。新テストへの不安とセンター試験難化による全国的な安全志向が前高生の出願動向にもうかがえた。併せて、少なくとも1つは合格を取っておくことを目指した出願指導も効いていた

【表4】現役出願状況(延べ人数)

	2016	2017	2018	2019	2020
国立大学	441	480	438	482	423
公立大学	79	73	61	58	107
私立大学	1285	1358	1168	1419	1694
その他	3	1	9	1	0
計	1808	1912	1676	1960	2224
在籍生徒	318	318	316	321	314
平均出願数	5.7	6.0	5.4	6.1	7.0

令和2年4月作成「進路概況」による

と思う。慎重な出願は功を奏し、国公立大学の合格者数は順調に数を伸ばし、大幅に増加した昨年をさらに上回る結果となった(【表5】)。

既卒生の健闘が目だったのも今年の大きな特徴のひとつだった。東大4名合格をはじめ、国公立医学部医学科ですばらしい実績を残した(群大10、山形・千葉・新潟・金沢各1)。

### 3. 私立大学一般入試

私立大学の一般選抜入試(推薦・AO入試等の特別選抜入試を除く)の延べ志願者数は、14年ぶりに減少に転じた。前年度入試において安全志向の出願で進学を決めた受験生が多く、既卒受験生が減少したことに加えて、推薦・AO入試を利用して大学進学を決定した受験生が多かったことが、大きな要因と言える。

前高生の私大出願動向は、前述のとおり、大幅に増加した。出願数増加に比例して合格者数も増加し、667(現役のみ。延べ数)を記録した(前年比+131)。

今年4月作成の「進路概況」の一部を前高Webページに掲載しています。また、6月発行予定の『進学の手引』資料編に全データを掲載します。

# 3年間の振り返り

令和元年度第3学年主任 **武田 俊一**

入学式の日、南の空に珍しい虹が現れた。環水平アークという現象だそうだ。祝福されているようで嬉しかった。1年5月の県高校総体の行進で特筆された優秀校に



2017年5月 高校総体開会式

選ばれた。1回だけの練習の中で体育科安田先生が「やらなければいけないことの中に面白さを見つけて元気よくやれることの大切さ」を語りかけてくれた。

2年次。新たな取り組みとして前高キャリアメディカルが始まった。総合的な学習の時間と連動する形で、医学部志望の生徒を対象に医師の方の講演や、医学科に在籍する卒業生の話聞く機会が設けられた。

3年次。迎えた新入生への対面式・部紹介の日には花隠しの雪が積もり、銀世界となった。平成は4月で終わり、5月から令和が始まった。大型連休は10連休となったが自主的な学習に励んでくれたことと思う。県の高校総体は、1・2年次に総合第1位で、3連覇に貢献しようという気概で臨んでくれたが第3位であった。3位は立派だと思っただけだが悔しい思いもあったに違いない。さらに9月の定期戦での連敗も悔しかっただろう。卒業式の答辞を務めた東君の言葉を紹介したい。「定期戦から学んだことは、一つの目標に向かって仲間と汗を流す達成感と、努力は時に結果に繋がらないという厳しい現実でした。」悔しい思いとともに大きな成長を果たしてくれたと信じて



2019年6月 蛟龍祭



2019年7月 優曇華



2019年9月 定期戦

いる。

入学前から意識された大事は最後のセンター試験の学年ということだ。次年度からは共通テスト



2020年1月 センター試験

が実施される。1浪したら共通テストにおいて英語民間試験が必要で、国語、数学で記述式問題が導入される見込みだった。一転、11月に共通テストの英語民間試験導入は延期が決まり、12月には記述式問題も延期が決まった。国立大学2次試験にむけた記述力が養成されれば共通テストは恐るるに足らずと予めから話したし、難関大を目指すならば怯んではいけないとも伝えた。しかしながら変化への警戒は少なからず今春の卒業生の進路選択に影響したものと思う。受験に関する指導も担任の先生方が丁寧に面談してくれていた姿に頭が下がる。

卒業直前には、新型コロナウイルス感染症の流行。制約の下、卒業式は実施できたが、大学進学を決めた者もそうでない者も苦しい4月になってしまった。



2020年3月 卒業式

先輩が蓄積した前橋高校の素晴らしさは日程の中に埋め込まれていて、その日程をしっかりと務めることで力をつけ成長した。卒業式から1カ月あまり経ち、休校が続く日々の中で、平穏な日常の素晴らしさを改めて感じる。前高生がこの苦境を乗り切り、許された状況の中で最良の行動をとり、それぞれの成長を果たしてくれることを願う。



2020年3月 校庭の桜

前高最後の8クラス。先輩たちの積み重ねてきたものを引き継ぎ、精一杯に駆け抜け、前高の

バトンを次世代に渡すことができたと思えている。私自身、素晴らしい生徒たち、先生方と過ごせた3年間を愛おしくまた誇りに感じている。本当にありがとうございました。